

23. お医者さんごっこをする子

【問い】 6歳になる男児ですが、近所の同年齢の女の子とお医者さんごっこをしたり、自分の性器をさわっていることがよくあります。しかってみましたがなおりません。夫に相談しても、そのうちになおるからと真剣に考えてくれません。本当になおるのでしょうか。

【答え】 性的な遊びや、性に結びついた問題の場合、大人はすぐに自分の感じ方をそのまま子どもに投影して考えたり、必要以上に過敏になり神経をつかうものです。それだけにやめさせようとあせり、しかったり、たたいたりしがちです。息子さんの年齢は、性的発達段階からみると、男児も女児も性器の違いに気づいたり、興味を示す時期なのです。また、一般に性的遊びに興味をもつ子どもは

①甘やかされ、身体の接触による愛ぶを多く受けたか、その逆にあまり相手にされないで育った場合

②母親が性的問題に潔癖で、やかましく禁止したり、しかったりすることが多い場合

③異性の同胞がいないため男女の性差に気づき興味をもつ場合

④神経質・依存的で社会性に乏しく同性の子との外遊びを好まない…などの子どもに多くみられるようです。

息子さんの場合ですが、父親の「そのうちになおる」という考え方、母親の厳しくしかるという態度を反省してみてもいいかがですか。大げさに扱うことは、かえって、そのことに対する関心を高め、注意をそこに固着させることにもなりますので、まず

①母と子の関係から父、母と子の関係をつくる②できるだけ、戸外の遊びに連れ出すようにする③性器をさわることに対して厳しくしかることをやめ「ばいきんが入って痛くなるからやめましょう」とやわらかく禁止する④動物などを飼育させ、その世話に責任をもたせる…など考えてみてはいかがでしょうか。